

親子フィラーQタイプは、鋼製フィラーの適切な取付けと、ベースプレート下端及び**ベースプレート孔の空隙部位に、親子フィラーQグラウトを充填**することで、所定の性能を得ています。
 この要件を確保するために、**鋼製フィラーの取付け及び親子フィラーQグラウトの注入作業は建設会社(元請け)様**にお願いします。
 また、鉄骨柱の固定(本締め)は、グラウト材注入後に行うのではなく、**親子フィラーQグラウトの注入前に完了している**ことをご確認ください。

弊社から供給可能な機材の内容は、以下の5点(①~⑤)です。 (@3,000/セット：送料込)

1)流動性試験用キットとして:

- ①フラットフロー板
- ②試験筒
- ③水温計

2)充填促進機材として:

- ④スラスター(50)(30) ***必須**
- ⑤注入枠設置ガイド(50)(30)

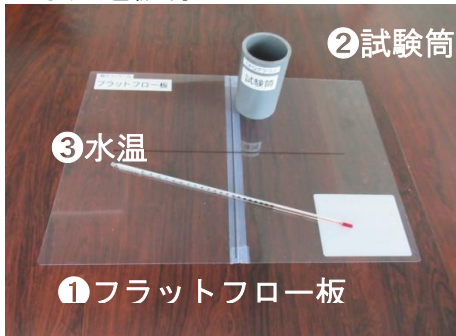
①は折り畳み式となっています。

ご使用時には、図にあるように開いた状態でご使用ください。

2)はベースプレート端と注入枠の間隔を50mmを基準としております。注入幅を30mmとする場合は指定ください。

上記の注入幅を変更される場合は、適宜機材をご用意ください。

●共通機材



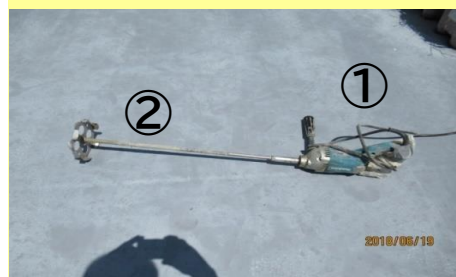
●注入幅が50mmの場合(標準)



●注入幅が30mmの場合(指定)



下記の①~⑥は、別途、ご用意ください。(OF-Qグラウトを作製するための機器です。)



①電動攪拌機

●800~1300rpmの能力が必要です。

②攪拌用羽根 + シャフト

- 折返しの付いた羽根がベストです。
- 鋼製です(アルミニウム製は不可)



③攪拌用缶

- 20~25ℓの容量があると安心して施工ができます。
- 予備の缶があると施工が楽です



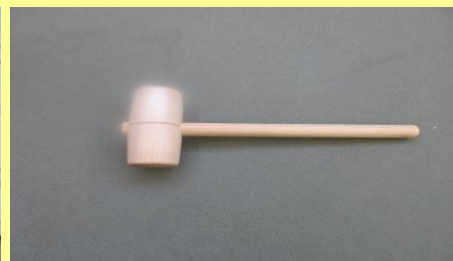
④混練水計量カップ(例)

- 市販の計量カップで4.6ℓを1回で計量できるのではありません。
- ※上記の例は、4.6ℓを3回に分けて計量・投入するケースです。(15.33ℓ×3杯=4.6ℓ)



⑤時計(混練時間の計測)

- 混練時間は、120±10秒です。



⑥木槌は、グラウト材注入時、注入枠を叩いてグラウト材に振動を与え、その流動性を促進させるために使用します。

※親子フィラーQグラウトの作製には左記の機能を持つ機材が必要です。

※適用可能な機材をご用意ください。(仕様等は施工マニュアル参照)